本紙は各校ＰＴＡに「校長・教頭用」「ＰＴＡ会長・役員・広報委員用」「事務局員用」として配布しています。

令和4年度 日本PTA年次表彰式を開催!

令和４年度１１月１８日(金)ホテルニューオータニにて

永岡桂子文部科学大臣、高橋克法参議院文教科学委員会委員長が来賓として出席

令和4年度年次表彰式を11月18日、東京・千代田区のホテルニューオータニで開催いたしました。来賓に永岡桂子文部科学大臣と参議院文教科学委員会委員長の高橋克法氏を迎え盛大に開催された表彰式では、ＰＴＡ活動の質向上および活性化のため、公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会の目的に沿って顕著な業績を上げたＰＴＡに対し、文部科学大臣表彰として102団体、日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰として99団体と223人の個人に表彰状が授与されました。

併せて開催された第44回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクール表彰式では、義務教育学校のＰＴＡを含め、3345点の応募から45団体に「文部科学大臣賞」をはじめとする表彰状が授与されました。

祝辞

永岡　桂子 文部科学大臣

本日は令和4年度日本ＰＴＡ全国協議会年次表彰式が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

今回、表彰を受けられる皆様におかれましては、コロナの影響が長期化する中ではありますが、大変なご苦労と創意工夫のＰＴＡ活動にご尽力をされ、その振興に多大な貢献をされましたことこれまでの功績に対し、深く敬意を表します。

学校・家庭・地域が連携・協働して一丸となって子供を育てることが重要

子供たちがこれからの予測困難な時代を生き抜き、持続可能な社会のつくり手となるためには、ＰＴＡをはじめ学校・家庭・地域が連携・協働して一丸となって子供を育てることが重要です。

皆様方におかれましては、学業にいそしむ子供たちに寄り添うＰＴＡ活動のリーダーとして、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動に積極的に関わっていただき、子供たちの健全な成長のためにお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

文部科学省としましても、子供たちや学校現場を取り巻く環境が日々大きく変化する中、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現していくための取り組みを進めています。

現在、日本ＰＴＡ全国協議会におかれましては、ＰＴＡの抱えるさまざまな課題に対して検討を重ねていると伺っております。

全国のＰＴＡ活動がより充実したものとなるよう、引き続き各ＰＴＡの声に耳を傾けていただくとともに、活動の参考となる情報の発信等に努めていただくようお願い致します。

最後に、日本ＰＴＡ全国協議会のますますのご発展と、本日表彰を受けられた皆様をはじめ関係者の皆様の一層のご活躍をご祈念しまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

あいさつ

公益社団法人日本ＰＴＡ全国協議会
金田　淳　会長

決して学びを止めることなく歩み続けていきたい

この度表彰を受けられた優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰の皆様、第44回全国小・中学校ＰＴＡ広報紙コンクールに入賞された皆様、そして日本ＰＴＡ全国協議会会長表彰の皆様、誠におめでとうございます。

この2年間、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして私たちＰＴＡ活動は大きく制限をされてきましたけれども、このような状況の中にあっても何ができるのかを真剣に考えながら歩みを止めずにさまざまな活動を行ってまいりました。この年次表彰式においても、規模を縮小したり祝賀会を中止にしたりはしましたけれども、表彰事業を中止することなく実施しておりまして、本年度の開催におきましてはＰＴＡで作成しております。ＰＴＡ活動における新型コロナウイルス感染症対応ガイド第3版に対応しての開催とさせていただきました。

ご存じの通り、学校教育法に基づき各学校で教育課程を編成する際の基準であります学習指導要領が令和2年度から小学校、令和3年度から中学校で本格実施となっております。

今回の改訂に際しての思いというものもしっかり書かれておりまして、そこには「これからの社会は、どんなに変化して予測困難な時代になっても自ら課題を見つけ自ら学び、自ら考え判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい」と、そして最後に「生きる力」学びのその先へ」と書かれております。

これは、これからの社会の変化を見据え新しい学びへと進化しようとしているということです。

そして、「この学習指導要領の内容を多くの方々と共有しながら社会全体で子供たちの学びを応援していきたい」とも書かれております。

日本ＰＴＡ全国協議会としましても、日本最大の社会教育団体としてこれからの社会がどんなに変化しようと、主体的に課題を見つけ学び考え、そして判断して行動し、決して学びを止めることなく歩み続けていきたいと考えております。

本年度、日本ＰＴＡ全国協議会は時代の変化に合わせて新しい取り組みを数多く実施、または検討してきております。

なかなか一筋縄ではいかないことも多くありますが、引き続き私どものこのような取り組み、また事業につきましてご理解とご協力をお願いしつつ、全国の皆様の新しい取り組みにも大きなエールを贈りたいと思っております。

本日、ご参集の皆様のますますのご健康と子供たちの明るい未来を祈念してごあいさつとさせていただきます。

日本PTA

発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人　金田　淳
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
https://www.nippon-pta.or.jp/

このQRコードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるＰＴＡ活動を通して、我が国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1・2面
○令和4年度 日本PTA年次表彰式を開催!
3面
○第70回 日本PTA全国研究大会 山形大会
○第54回 日本PTA東北ブロック研究大会
4・5面
○日本PTAブロック研究大会が7ブロックの各地で開催!
6・7面
○スポーツ庁・中学校・PTA 新春座談会
8面
○各委員ならびに諮問会議における情報について